みなと SDGs パートナー 登録申請書

_2022_年_9_月_1_日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企	業	· 団	体	名	関門港湾建設株式会社
所		在		地	山口県下関市細江新町 3 番 54 号
代	表者	役 職	・氏	名	代表取締役社長 清原 生郎
+□	MZ	*	U.A	4-	電 話:083-234-3411 (担当:中村善昭)
担	自	者 連	絡	先	メール: kanmon@kanmon-const.co.jp
ウ	ェブ	サイト	U R	L	http://www.kanmon-const.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は創業 104 年を迎えた海洋土木の専門業者であり、山口県下関市を拠点に浚渫・埋立・圧送プレミックス・港湾構造物工事を実施している。

大型作業船(グラブ浚渫船、リクレーマ船、プレミックス船、コンクリートミキサー船)を 11 隻所有し、 関門航路整備事業をはじめとする国内外多くの大型海洋プロジェクトに参画。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
√環境 □社会 √経済	カルシア改質土を利用した浚渫土の有効活 用の推奨。	カルシア改質土施工数量 【現状】 25,000 ㎡(2021 年度実績) 【目標】200,000 ㎡
□環境 √社会 √経済	合理化、生産性向上による時間外労働時間を 短縮する。	1 人当たりの月平均時間外労働時間 【現状】22 時間 【目標】20 時間
□環境 □社会 □経済		

SDGs達成に向けた具体的な取組

	カ							s (17⊐							
	テゴ	チェック項目	具体的な取組	1 555	2					9					15 16 17 16 ******* 17 **************************
1	リ 人権	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整 備し、差別がないことを確認している	・専門家を招いて人権問題について社内講習を毎年 実施しており、差別のない体制を構築するために経営 陣が積極的に関与している ・山口保護観察所に協力雇用主として登録している	tient	<u> </u>	-14/\$	5.1 5.2 5.5	7	8.5 8.7 8.8	<u>&</u>	10.2		•	16 there	16.1 16.2 16.7
2	働	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体 制を整備している	・ハラスメント禁止など就業規則に明記しており、総務 部長を相談窓口として体制を整備している ・ハラスメント防止について専門家による講習を実施し ている				5.1 5.2 5.5		8.5 8.8						16.1
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・労働基準法改正内容を経営陣を含めて共有している ・船員法も含めた対応を行っており、勤怠管理の見直し を行っている						8.5 8.8						
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	・各部署ごとに上司によるヒアリング調査を適宜実施し ている			4	4		8.5 8.7 8.8		10.2 10.3				
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・衛生的な労働環境改善の一環としてレディースパトロールを実施している ・月1回安全衛生委員会を実施し、計画と実施状況の把握をするとともに社内周知を図っている			3			8						
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・定期健康診断の際に、全従業員に対してストレス チェックの受診を推奨している			3									
7	-	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の 整備に取り組んでいる	・シニア層、女性、外国人など積極的に雇用促進を 図っている ・女性技術者向け環境整備として更衣室新設など居 住空間の整備を実施している ・(女性活躍推進法に基づく)一般事業主行動計画に 基づき、女性技術者の雇用を推進している				5.1 5.5		8.5		10.2				
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・従業員の能力開発の為、内外の研修への参加促進、CPD講習会や資格取得などの支援を行っている			4	5.5		8	9					
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5		8.5		10.2 10.3				
10	-	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・インフルエンザ予防接種の全額会社負担を行っている ・健康診断受診率100%とし、二次健診受診を推奨している			3			8						
11		【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュー ス、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	・コンクリートミキサー船のプラントからの洗浄水を分級 し、混錬水として再利用している								1	11.6 12. 12.	4 5	14.1	
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・本社での電力消費量を把握している ・社内照明を蛍光灯からLEDへ取替え、省エネに努め ている					7.3	3				13		
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・NOx二次規制に対応した船舶設備を整備している ・作業船の屋上緑化にも取り組んでいる					7.2				12.4	13.3		
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に 取り組んでいる	・使用箇所に責任者を配置し、使用量の抑制及び適 切な使用に取り組んでいる			3.9		6.3				11.6 12.	4		

	カ						主	なSDG	s (1	7ゴ-	-ルと	169	ター	ゲッ	h)	関連項	頁目		
	ーテ	チェック項目	具体的な取組	1	2	3			6	7	8			11				15 16	
	ゴリ			1 00. 100 M	2 ***	3 ##### -W-	4 freier	5 SELECTION (8 seester	7 State-Market	8 ####	9 ##65555	10 (CE)	11 :::::::::::::::::::::::::::::::::::	12 ::::II	13 #####	4 ###*** 1	16 Messes	17 ======
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している							6.6									15	
16		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	・作業船に海水淡水化装置を装備し、水資源の利用 効率改善に取り組んでいる						6.4 6.6										
17		【環境マネジメントシステム】 ・IS014001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	·IS014001を取得している			3.9)		6	7					12	13.3	14	15	
18	}	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している													12.6				
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・現場にソーラーハウスを積極的に設置している							7.2						13			
20		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	・環境配慮商品の購入促進や環境対応車(EVなど)の 導入に取り組んでいる												12.2	13	14	15	
21	•	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している				3.9	,								12.4				
22	サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・工事の特性に応じた作業船の改良・改造を随時行っている ・工事ごとに施工検討会を開催している									9							
23		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・環境に配慮した浚渫土の有効活用に取り組んでいる ・汚濁防止膜の設置など環境に配慮した施工を行って いる						6						12	13	14	15	
24		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・港湾インフラ整備・防災力強化に資する施工を業務としている ・国、県、市などと災害協定を締結しており、防災訓練 を実施している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15 16	17
25	貢	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している					4					9		11	12		14	15	17
26	献・地域貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・海岸清掃活動などに参加している ・児童養護施設へ寄付している ・地域文化活動(先帝祭等)へ協賛している ・下関市消防団協力事業所に登録している ・地元学生などを対象とした現場見学会を実施している				4							11			14	15	17
27		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	・地元の協力会社と積極的に連携している								8	9		11	12	13			
28	体	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	・経営理念や経営目標を従業員に説明し、共有している								8	9							17
29		【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが 社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	・社内通知や会議等で法令遵守の重要性を従業員に 向けて発信している															16	í
30		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備 している	・執行役員制度を確立し、責任者を明確にして管理している ・SDGs推進室を設置している															16	i
31		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす 影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	・取引先など、ステークホルダーと連携した取組を進め ている															16	3 17

	カ			主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目															
	テ	チェック項目	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11 1	2 1	13	14	15 16	17
	ゴリ	The state of the s		3 is::::::: -W*	4 Protesta	5 Sec. (1-14)	6 seeds	7 5107-510	8 ====	9 111111111	10 (#800000 4 😩 >	AM CX	18 ::	14 (2)	15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 1	16 Pecoal	17 decreases		
32		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジ メントするプロセスを整備している	·ISO統合マニュアルを制定している															16	
33		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる																16	
34		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している										9		11	1:	3.1		16	
35		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	・執行役員制度を導入し、責任の明確化と将来の経営 陣候補の育成を行っている								8	9							17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	2 :	3	4	5	6	7	8	9	10	0	11	12	13	14	15	16	6 17
【ワークライフバランス】 ・男性女性平等に、出産や育児・介護をしながら仕事を続けていけるよう従業員が共に 活躍できる働きやすい職場環境づくりを行っている	· 育児休業·介護休業、子の看護休暇、介護休暇を制度化するとともに、特に男性の育児休業取得を奨励している						5			8		10	0							
【教育格差】 ・従業員子女が男女の区別なく、質の高い技術教育、職業教育及び大学を含む高等教育 への平等なアクセスを得られるよう整備する	・従業員の子女の教育資金にかかる奨学金貸付を制 度化している					4														
【将来の担い手確保】 ・建設業における将来の担い手確保に向けての取組を行っている。	・地元の児童・学生を対象とした現場見学会を開催している ・地元の学校と連携したインターンシップの受入・ワークショップの開催を行っている ・地元の学生を積極的に雇用している									8	9. 2	2								

SDGS達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地: 山口県下関市細江新町3番54号

名 称: 関門港湾建設株式会社

代表 者: 代表取締役社長 清原 生郎

登録年月日: 令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 ✓経済	カルシア改質土を利用した浚渫土 の有効活用の推奨。	カルシア改質土施工数 量 【目標】200,000 ㎡	【2022 年累計】38,000 ㎡
□環境 ✓社会 ✓経済	 合理化、生産性向上による時間外労 働時間を短縮する。	1 人当たりの月平均時 間外労働時間 【目標】20 時間	【2022 年実績】7.2 時間
□環境 □社会 □経済			

SDGS達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地: 山口県下関市細江新町3番54号

名 称: 関門港湾建設株式会社

代表 者: 代表取締役社長 清原 生郎

登録年月日: 令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境□社会✓経済	カルシア改質土を利用した浚渫土の有効活用の推奨。	カルシア改質土施工数量 【目標】200,000 ㎡	【2023 年累計】57,550 ㎡
□環境 ✓社会 ✓経済	合理化、生産性向上による時間外労 働時間を短縮する。	1 人当たりの月平均時間 外労働時間 【目標】20 時間	【2023年実績】8.9時間
□環境 □社会 □経済			

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地: 山口県下関市細江新町3番54号

名 称: 関門港湾建設株式会社

代表 者: 代表取締役社長 清原 生郎

登録年月日: 令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 ✓経済	カルシア改質土を利用した浚渫土 の有効活用の推奨。	カルシア改質土施工数量 【目標】200,000 ㎡	【2024 年累計】78, 450 ㎡
□環境 ✓社会 ✓経済	合理化、生産性向上による時間外労 働時間を短縮する。	1 人当たりの月平均時間 外労働時間 【目標】20 時間	【2024年実績】10.2時間
□環境 □社会 □経済			